

震災がれき広域処理

伊賀市長に協力要請へ

名張市長 年内に訪問、経過説明



【名張】亀井利克名張市長は二十七日、同市役所の定例記者会見で、東日本大震災で発生したがれきの広域処理について、受け入れに反対の意思を示す岡本栄伊賀市長を今年中に訪問し、受け入れに協力を求める考えを表明した。

岡本市長は二十一日の就任記者会見で、広域処理を記者会見する亀井市長に名張市役所で

めぐる名張市との協議について、「もし用事があるとすれば、向こうから来るは

ずだ」と述べた。亀井市長はこの発言について、「門前払いではないという認識を持っている」と述べ、その上で、十二月中旬に開会予定の伊賀南部環境衛生組合議会までに、岡本市長を訪れ、受け入れに向けた経過などを説明する方針を明らかにした。

また、民間出身者の岡本氏が二十一日、伊賀市の新市長に就任したことについては、「市民の方からすれば、『チェンジ』を選択されたのだと思う。民間感覚を持って財政改革を進めていけるとのことで、連携できることはさせていたいただきたい」と述べた。

(海住真之)